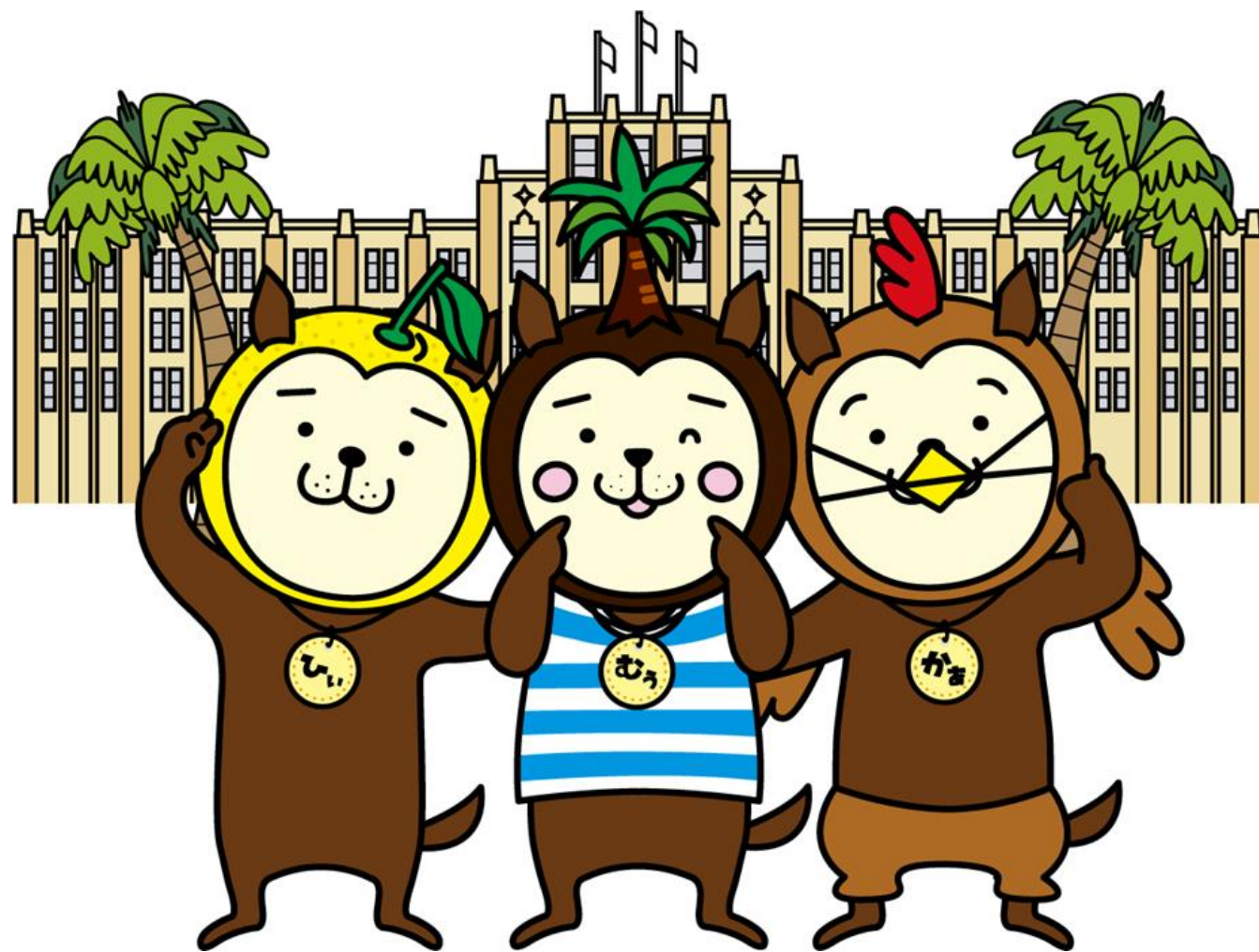
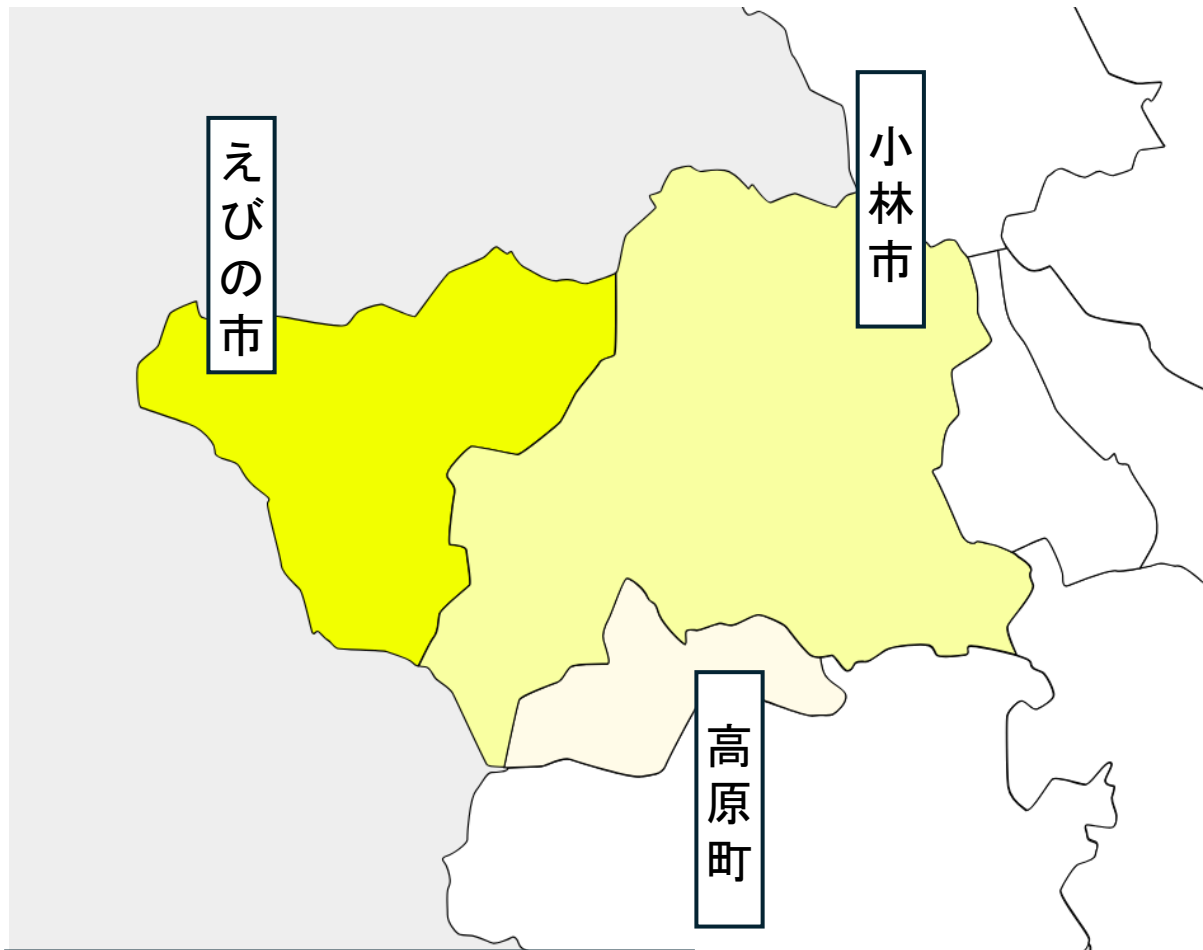


旅館業及び公衆浴場営業施設への衛生対策指導について

令和6年度 小林保健所運営協議会



小林保健所管内旅館業・公衆浴場業許可施設数



旅館業：宿泊客のみ入浴する施設
公衆浴場業：日帰り入浴の施設

(令和5年3月末日時点)

	管内件数	県内件数※	合計件数
旅館業	49	89	138
公衆浴場業	132	561	693
合計	181	650	831

※宮崎市は除く

小林保健所管内施設
全体の**約22%**!

あおしま太陽閣（宮崎市） レジオネラ検出報告せず 23、24年

2024年6月14日

宮崎市青島西1丁目の宿泊施設「ルートイングランティアあおしま太陽閣」を運営するルートインジャパン（東京）は13日、同施設内の温浴施設「健康ランド華の湯」で基準値を超えるレジオネラ属菌を検出したにもかかわらず、市保健所へ報告していなかったと発表した。施設は11日から営業を自粛。健康被害は現時点で確認されていない。



2024年 宮崎市でのレジオネラ属菌検出例

注目ワード [都知事選 開票結果](#) > [都議補選 開票結果](#) > [能登半島地震](#) > [大リーグ](#) >

[ホーム](#) > [ニュース](#) > [社会](#)

大浴場の湯入れ替え「盆と正月のみでいい」、大丸別荘社長が自ら指示...「塩素臭嫌いだった」

2023/02/28 14:30

この記事をスクラップする

福岡県筑紫野市の老舗旅館「二日市温泉・大丸別荘」が大浴場の湯を年2回しか入れ替えていなかった問題で、旅館の山田真社長（70）が28日、福岡市博多区の福岡商工会議所で記者会見し、社長自らが従業員に対し、湯の入れ替えをしないよう指示していたことを明らかにした。「利用者の皆さまを裏切るような行為で大変申し訳ない」と謝罪した。

2022年 福岡県でのレジオネラ属菌検出例

レジオネラ属菌検出に関する事例

レジオネラ属菌に関する衛生指導が主となる

レジオネラ症

死亡事例
多数あり

- 原因：レジオネラ属菌が原因の細菌感染症
- 症状：倦怠感・高熱・肺炎等。
- 感染経路：霧状の蒸気（エアロゾル）を吸い込むことによる感染が主たる

【レジオネラ属菌】

- 常在菌（水辺・土等）
- 36～42℃くらいで最も良く増殖する。
- お風呂の配管内などの「ぬめり」で増えエアロゾルとなり浴室内を浮遊

宮崎県発生例

平成14年7月：宮崎県内施設にてレジオネラ症集団感染事例発生
死者7名 有症者295名

平成15年4月：レジオネラ属菌対策を盛り込んだ条例改正
（その後も平成27年、令和3年に一部改正あり）

改正の柱

①施設の衛生管理

- 施設における配管等の日常管理（清掃・消毒等）方法を定めている。

②水質検査の実施

- 1年に1回以上のレジオネラ菌検査の実施及び保健所への報告を定めている。
- レジオネラ属菌検出時は直ちに保健所へ報告するよう定めている
- 毎日の数回の塩素濃度検査の実施を定めている。

③施設の自主管理

- 衛生管理マニュアルの作成とそれに基づく自主管理を定めている。
- 衛生管理責任者の設置し、管理者は年1回の講習受講を定めている

改正条例の柱に沿って衛生指導を実施

小林保健所の衛生指導

1 監視指導

- 実際に施設に行き機械の状態や記録類、清掃状況の確認を行い、必要に応じて指導を行います。



配管の確認

2 講習会の実施

- 衛生管理責任者に対し講習会を行い、各施設の必要な検査や、新たな知識の習得等をしてもらっています。

3 その他指導、相談等

- 検査報告が未提出の施設に対しては、電話で指導を行うと共に、必要に応じて監視指導を実施しています。
- 新しく旅館を作る等の際は、事前に相談をいただき十分な打合せを実施すると共に、適切な助言を行う。

講習会の実施



清掃状況の確認



安全・安心な施設を目指して

